

【報道関係各位】

バイク王 バイクライフ研究所 警視庁 二輪車交通安全対策係と オートバイ事故防止啓もう活動をスタート

都内におけるオートバイ事故を分析(『警視庁 交通部交通総務課』提供)
死亡事故は、早期・夕方が多く、ヘルメットの脱落が多い。あご紐の正しい装着を！

オートバイ買取専門店「バイク王」を全国展開する株式会社アイケイコーポレーション(代表取締役社長:加藤義博、本社:東京都渋谷区、証券コード:3377、以下「当社」)の情報発信機関「バイク王 バイクライフ研究所」は、このたび警視庁二輪車交通安全対策係との相互協力の下、オートバイ事故防止啓もう活動を開始しました。まずは、警視庁交通部交通総務課からの提供資料を基に、警視庁管内におけるオートバイ事故状況をまとめましたので、お知らせします。

現在、都内には国内で最も多い約120万台のオートバイ(原付含む)が登録^{※1}されています。国内随一の交通量、複雑な道路網といった都内特有の事情もあって、全交通死亡事故におけるオートバイの割合が、都内は全国平均と比較して2倍弱^{※2}とのデータがあります。

また、保有台数に占める事故発生率を四輪車の1.04%と比較すると、オートバイは0.33%と、3分の1に留まっています。しかし、事故発生件数に占める死亡事故の割合は、それぞれ0.24%、1.19%と、オートバイは四輪車と比べて高いことから、身体に受けるダメージの大きいオートバイは、思わぬ事故が惨事につながりやすいと言えます。

都内における交通事故発生状況^{※3}

	都内保有台数	事故発生件数	保有台数に占める 事故発生率	死亡事故 発生件数	事故件数に占める 死亡事故発生率
四輪車	4,472,022	46,319	1.04%	115	0.24%
オートバイ	1,206,597	4,039	0.33%	48	1.19%

※1 出典:『二輪車新聞』(2011.1.1号)、※2 出典:警視庁ホームページ

※3 出典:警視庁ホームページ、(財)自動車検査登録情報協会ホームページ いずれも平成22年の実績。

今回のオートバイ事故状況分析では、オートバイによる事故は減少傾向にあるものの、死亡事故は増減を繰り返していること、死亡事故の過半数は頭部の損傷が原因であり、ヘルメットが脱落した死亡者は半数に上ることが分かっています。あってはならない事故を未然に防ぐためにも、本資料をオートバイの特性や事故の起きやすい環境について改めて認識するきっかけとしていただき、ひいてはライダー一人ひとりの安全運転につながれば幸いです。

本件は、「バイク王 バイクライフ研究所」の活動内容の一つである「消費者を対象とした、オートバイライフの楽しさ・安全面を訴求する活動の実施」に即する内容であり、今後も警視庁と継続的な協力体制を敷いたうえで、様々な活動を行っていく予定です。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社アイケイコーポレーション

バイク王 バイクライフ研究所 担当: 平見、西元
TEL 03-6803-8855 / E-mail bikelife_lab@ikco.co.jp
東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18F

■共同ピーアール株式会社

第3業務局 担当: 峰松、森田
TEL 03-3571-5236
東京都中央区銀座7-2-22

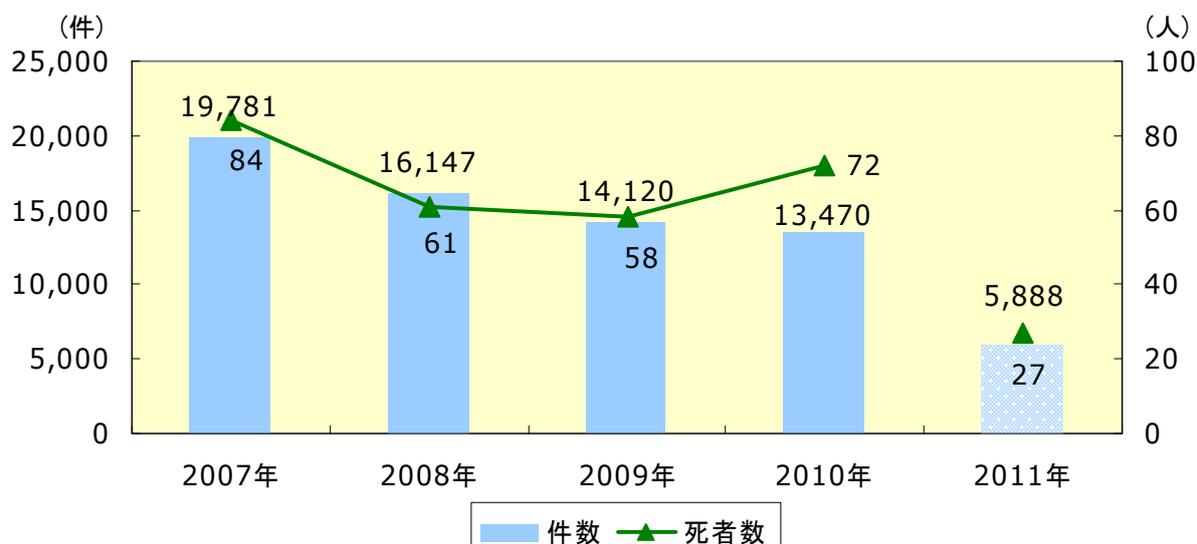
都内におけるオートバイ事故について

本データは、警視庁交通部交通総務課の協力のもと、既に公表されている情報に新たなデータ(2011年における速報値・10月末日時点)を加え、当社で独自に加工・分析したものです。

- ・項目 1.過去5年におけるオートバイ事故件数・死亡者数の推移
- 2.過去3年における時間帯別死亡事故発生件数
- 3.年齢層別事故発生件数と死亡者数(2011年6月末日現在)
- 4.死亡事故における損傷主部位(2011年10月末日現在)
- ・談話 警視庁二輪車安全対策係 担当者

オートバイ事故は減少傾向に 2011年の死亡者数は前年水準で推移

1. 過去5年におけるオートバイ事故件数・死亡者数の推移



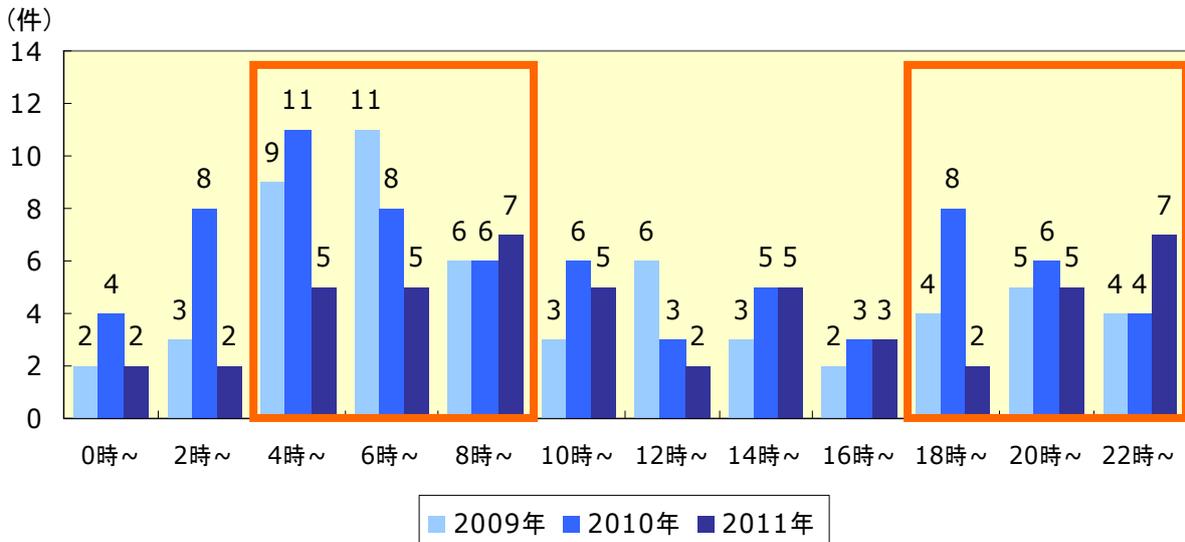
※2011年は6月末日現在の数値

過去5年間の推移をみると、オートバイによる事故は、2007年の19,781件から年々減少し、2010年は約3割減となる13,470件に留まっています。2011年は上半期(1月-6月)の数値から、12,000件前後で推移するものと考えられます。反面、死者数は減少と増加を繰り返しています。

なお、2011年は10月末日の時点で51人の死亡者数となっており、昨年とほぼ同じペースで推移しています。

通勤通学・帰宅時間帯の事故が多発

2. 過去3年における時間帯別死亡事故発生件数



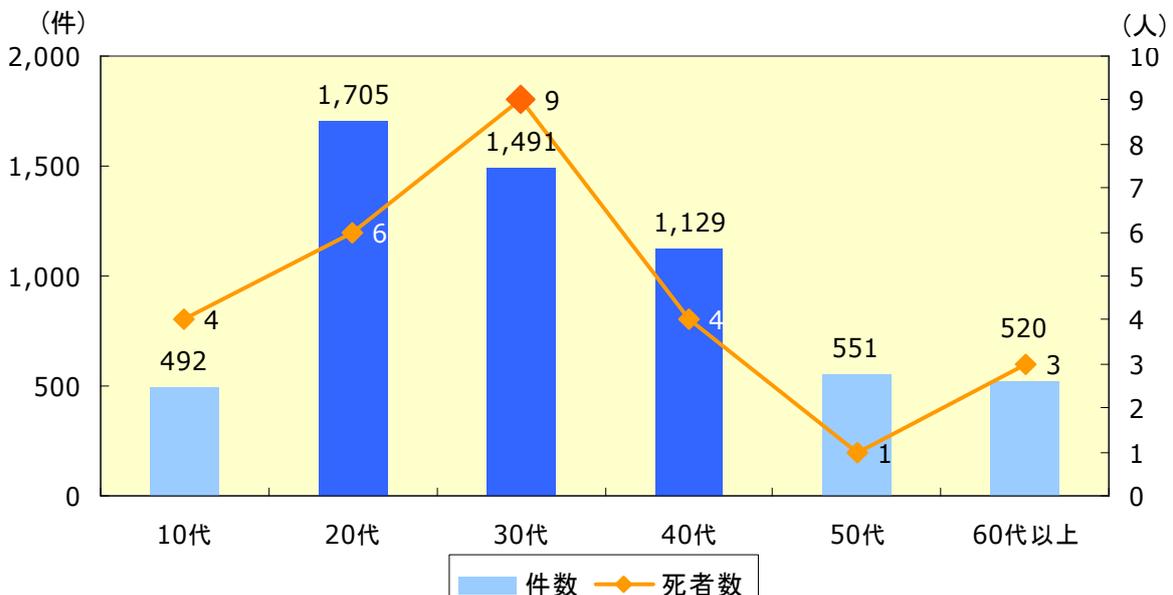
※2011年は10月末日現在の数値(時間帯不明の死亡事故1件をのぞく)

次に、時間帯別死亡事故発生件数について、過去3年間の推移を考察しました。

オレンジの枠で囲ったとおり、死亡事故は4時～6時・6時～8時・8時～10時の時間帯で最も多く発生し、18時～20時・20時～22時・22時～24時の時間帯が、これに続くことが分かります。この時間帯は、通勤通学・帰宅の時間帯と重なっており、通勤通学の交通手段として、オートバイを使用するユーザーの事故が多いものと考えられます。また、2010年は2時～4時の時間帯に8件の死亡事故が起こっており、日中と比べて視界の悪い深夜は、往来車両も少なく、ついスピードが出やすい環境にあることが、原因の一つと考えられるようです。

20代・30代・40代の死亡事故が7割を占める

3. 年齢層別事故発生件数と死亡者数(2011年6月末日現在)



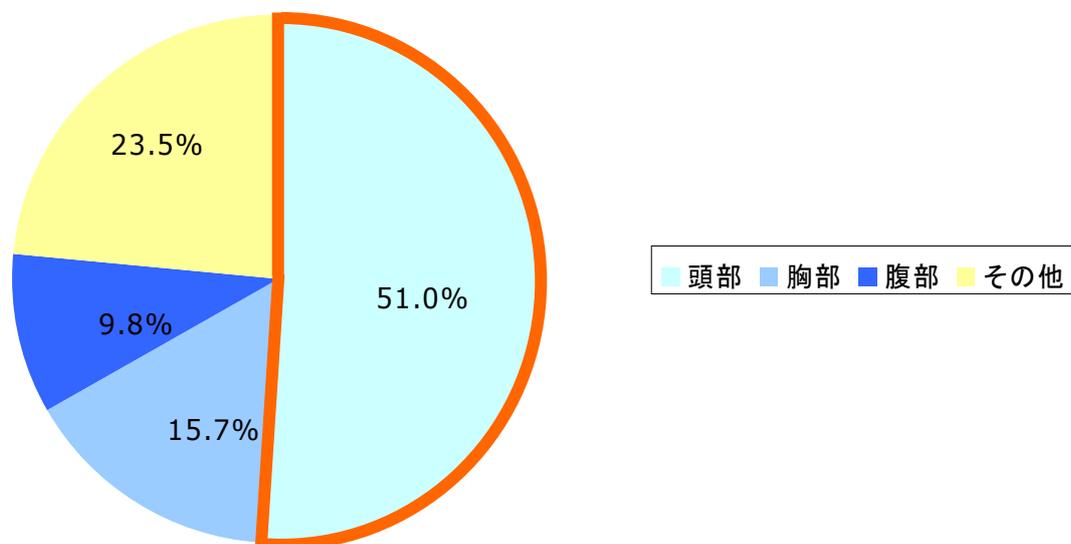
全体のうち 20 代・30 代・40 代の占める事故件数・死亡者数は、それぞれ 73%・70%と、とても高い割合になっています。中でも 30 代は、165 件に 1 件の死亡事故が発生していることになり、これは 20 代(284 件に 1 件)・40 代(282 件に 1 件)と比べて非常に高いといえます。

「2. 時間帯別死亡事故発生件数」の考察と合わせて、通勤にオートバイを使用する 30 代の事故が、死亡事故につながりやすい傾向にあることがうかがえます。

ヘルメットの正しい装着が肝要!

無用な露出は避け、安全を意識した服装を

4.死亡事故における損傷主部位(2011 年 10 月末日現在)



最後に、2011 年 10 月末日現在での死亡事故における損傷主部位についてまとめました。上記のとおり、頭部損傷による死亡者が、過半数(51.0%)を超えています。

警視庁の資料によると死亡者 51 人のうち、事故の際、ヘルメットが脱落した死亡者は 24 人(これとは別にヘルメット未着用の死亡者が 1 人)と、全体の半数に及んでいます。また、死亡者のうち胸部プロテクターを着用していたライダーは 3 人に留まっています。

警視庁二輪車交通安全対策係では、ヘルメットの正しい装着(あごひもは指が一本入る程度に締めるのが適正。これ以上の緩い結束になると、脱落の危険が増す)はもちろんのこと、胸部を守るプロテクターの着用を推奨しており、「無用な露出は避け、服装面でも安全を意識してほしい」とコメントしています。



以上の結果を元に、二輪車交通安全対策係の担当者より、談話をいただきました。

啓もう活動の普及、自動車の品質改良、道路の整備促進などにより、オートバイによる事故は年々減少しつつありますが、都内はオートバイが相対的に多いこともあり、他県と比べて事故率

が依然高い傾向にあります。

オートバイの事故は季節要因もあり、夏はツーリングでの事故が多く見られ、冬は日が短いことや路面が凍結することなどから、これから年末にかけて事故が増えることが懸念されます。また、雨の日は視野が狭まるほか、車と違って運転者が雨に打たれることから、「早く目的地に着きたい」などの心の焦りが、スピードを出しやすくしていると言えます。

オートバイに限りませんが事故を起こしてしまうと、ケガによる後遺症との闘い、加害者になった場合は賠償金の問題、そして死亡した場合は、残された家族が悲しみに暮れ、その姿は想像に耐え難いものがあります。

オートバイは、季節を全身で感じながら運転できる大変楽しい乗り物ですが、自動車と比べて身体が無防備であり、ちょっとした事故が惨事につながる危険を常にともなっています。ライダーの方は、オートバイに乗る前のヘルメット・服装の確認のほか、車輛のコンディション、自分の体調も考慮したうえで無理のない乗車をお願いしたいと思います。

家族や大切な人の顔を思い浮かべれば、自然と安全運転につながるのではないのでしょうか。ぜひとも、誰もが安心して楽しめるオートバイライフを送ってください。



都内の当社店舗・事業地などで、警視庁提供ポスターを掲示

当社は、警視庁二輪車交通安全対策係の要請を受け、本社、都内「バイク王」「バイク王ダイレクト SHOP」ならびに「株式会社パーク王」が運営するオートバイ駐車場計 32 か所において、2011 年 10 月 27 日より、同係提供による交通事故防止啓もうポスターの掲示を随時開始しています。

【掲出先一覧】

バイク王下北沢店	世田谷区代沢 5-8-18
バイク王成城店	世田谷区喜多見 6-24-13
バイク王葛飾青戸店	葛飾区青戸 4-2-7
バイク王練馬大泉店	練馬区東大泉 1-35-15
バイク王江戸川店	江戸川区新堀 1-42-1
バイク王新宿大ガード西口店	新宿区西新宿 7-2-4
バイク王亀戸店	江東区亀戸 2-45-5
バイク王荻窪店	杉並区天沼 3-6-6
バイク王杉並和泉店	杉並区和泉 4-40-35
バイク王洗足池店	大田区上池台 2-30-3
バイク王中原街道荏原店	品川区荏原 1-16-1
バイク王竹ノ塚店	足立区竹ノ塚 6-12-11
バイク王荒川店	北区上中里 3-18-5
バイク王第二京浜蒲田店	大田区多摩川 1-22-23
バイク王府中店	国分寺市西元町 2-3-20

バイク王 バイクライク研究所

バイク王小平店	小平市大沼町 2-650
バイク王立川店	立川市柴崎町 5-8-1
バイク王多摩店	多摩市和田 1167
バイク王八王子店	八王子市小門町 3-6
バイク王ダイレクト SHOP 板橋店	板橋区東山町 31-4
パーク王渋谷第四道玄坂駐車場	渋谷区道玄坂 2-15-1
パーク王千代田第一神田神保町駐車場	千代田区神田神保町 1-12
パーク王豊島第二西池袋駐車場	豊島区西池袋 1 丁目 30
パーク王新宿第三歌舞伎町区役所通り駐車場	新宿区歌舞伎町 2-21-13
パーク王武蔵野第二吉祥寺駅前駐車場	武蔵野市吉祥寺本町 1-24-7
パーク王大田第四蒲田西口駅前駐車場	大田区西蒲田 7-44
パーク王練馬第六大泉学園駅北口駐車場	練馬区東大泉 1-30-13
パーク王港第八虎ノ門 3 丁目 3 駐車場	港区虎ノ門 3-3
パーク王中央第 4 宝町駅前駐車場	中央区京橋 2-12-9
パーク王港第 21 六本木芋洗坂バイク駐車場	港区六本木 6-8-18
パーク王品川第 3 旗の台駅前バイク駐車場	品川区旗の台 3-13
株式会社アイケイコーポレーション 本社	渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエア

計 32 か所